

「グローバル安全学トップリーダー養成プログラム 活動報告書」

「みやぎサイエンスフェスタ」

報告者 柳田 泰宏(理学研究科 M1)

1. カテゴリー

学生自主活動

2. 活動日時、場所

2013年11月16日(土) 宮城県 仙台第三高等学校

3. 企画者(複数可、代表者には◎を記載)

宮城県仙台第三高等学校コアSSHより依頼。専任教員の久利美和講師が窓口担当。

4. 参加者

小林龍一(工学研究科 M2) ・ 柳田泰宏(理学研究科 M1)

5. 活動目的

大学院での研究活動を進める上で、学会などの専門知識が共有されている場での発表は経験をすることが多い。しかし、研究内容を異分野の人との交流、もしくは一般の人に研究の有用性を伝えるというようにグローバルな研究活動を行うためには、自身の深い理解と同時に“伝え方”を工夫することが求められる。

そこで今回、11月16日に仙台第三高等学校で開かれるスーパーサイエンスハイスクール(SSH)主催の「みやぎサイエンスフェスタ」での発表機会を利用して、リーディング大学院生2名の研究内容をポスター形式で発表し、専門的な知識がない人にわかりやすく伝えるために何が必要なかを理解することが目的である。

6. 活動概要

サイエンスフェスタでは、高校生の大学の研究生生活に関する質問に対してパネルディスカッション形式で質疑応答を行った。この質疑応答では、研究生生活の日常や、大学進学希望学科・研究室選択について様々な質問を受け、大学院生の研究生生活の率直な様子と共にリーディング大学院の制度を含めた説明を行った。ポスター発表では、リーディング院生が自身の研究発表をおよそ1時間半にわたって行い、高校生と質問も含めた議論を行った。

発表終了後、リーディング院生2名で反省会を行い、今後このような発表活動での注意点、また同時に東北大学リーディング大学院の取り組みについて、大学進学を考える高校生に広く紹介していくべきなのではないかと感じた。